

第 1 号議案

令和 7 年度事業報告書

公益目的事業：精神障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する事業

1 自主事業 「熊本県あかねの里の運営事業」

(1) あかね荘事業

① 短期入所事業

事業内容：居宅において障がい者の介護を行っている人が、一時的に介護できなくなった場合に、その障がい者を施設に短期間宿泊させ、入浴や食事等、日常生活上の支援を提供する事業を行いました。受入れはありませんでした。

実績：延0人（実数0人）の方が利用

② 自立訓練（生活訓練）事業

事業内容：施設や病院から地域生活への移行や地域生活を送るうえで必要な生活能力の維持、向上を図るため、洗濯・整理整頓などの日常生活能力、金銭・服薬管理の訓練や支援等を宿泊または通所により行いました。

実績：延べ5,863人（実数33人）の方が利用し、うち9人が地域で自立した生活を送っています。

③ 宿泊型自立訓練事業

事業内容：居室等の設備を提供し、家事等の日常生活能力を向上させるための訓練、生活等に関する相談及び助言その他の必要な支援を実施しています。

実績：延べ7,811人（実数33人）が利用し、うち9人（②の自立した9人と同一者）が地域で自立した生活を送っています。

(2) あかねワークセンター事業

① 就労継続支援（B型）事業

事業内容：一般就労が困難な方に、就労や生産活動の機会を提供し、働く為に必要な技術や技能、習慣性の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活ができるように支援する事業を行いました。作業は印刷作業、製菓作業、製鞆作業、軽作業等を行いました。

実績：延べ4,545人（実数26人）の方が利用

② 多目的ホール開放事業

事業内容：施設内の多目的ホールを利用してもらうことにより地域住民に障がい福祉サービス事業所に対しての偏見や差別を是正してもらい地域と精神障がい者や障がい福祉サービス事業所との共生を図ることで、精神障がい者の地域生活への移行をスムーズに行えるよう、多目的ホールを広く一般の人や教育機関等に低額な利用料で開放しています。

実績：利用者数1,285人9団体が利用

(3) あかねホーム事業

① 共同生活援助事業（グループホーム）

事業内容 : 地域において自立した日常生活を送るため、夜間や休日を含め、共同生活を営む住居において、家事、食事、相談などの日常生活上の援助を行う事業。

実績 : 延べ 2,528 人 (実数 9 人)、の方が利用

2 委託事業：次の事業を熊本県・熊本市から受託している。

(1) 精神科救急情報センター事業

事業内容：精神科救急情報センターでは、休日夜間において、緊急に精神科医療を要する精神障がい者やその家族等からの電話相談に対応し、必要な助言や医療機関紹介などを行いました。

精神科救急情報センターは、県内の精神科病院が当番制で相談員（当該病院の看護師や精神保健福祉士等）と専門的にバックアップする医師を配置し、的確な対応ができる体制としました。さらに、当法人の自主的な業務として、相談内容の統計分析を行い、結果はホームページに掲載及び参考のため県にも提供しました。また、相談員の対応能力向上のための研修会等にも活用しております。

実績：令和 7 年度相談対応件数 2,005 件

精神科救急情報センター相談員研修の実施

令和 7 年 9 月 2 日（火）熊本県庁地下大会議室 参加者 81 名

(2) 精神科二次救急医療事業

事業内容：休日・夜間における精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする精神障がい者等に対応するため、県内全精神科病院が輪番制で当法人の業務として事業を行いました。本事業は、外来対応だけでなく、重症の精神科救急患者への入院対応ができるよう、輪番病院に空床を 1 床確保しました。

実績：令和 7 年度救急患者数 848 件（助言指導 325 件、外来受診 277 件、入院 222 件、その他 24 件）

その他事業 1：会員である精神科医療機関の相互支援事業

1 講演会・研修会事業（精神保健医療福祉従事者の人材育成及び教育研修事業）

事業内容：精神科医療の向上のため会員間の知識の共有・問題点の把握等を目的として、会員医療機関を対象に講演会研修会事業を行いました。

(1) 院長会 年 6 回開催（5/29、7/17、9/18、11/13、1/15、3/19）

・院長に対して理事会、各委員会、日精協、さらに医師会等からの情報提供及び意見交換を行いました。

(2) 学術研修小委員会 学術講演会を年 5 回開催

・製薬会社等との共催で精神科医療についての学術講演会を企画開催しました。

(3) 看護部小委員会 研修会を年 4 回開催 看護部長連携の会 1 回

・会員医療機関に勤務する看護管理者等を対象に看護に関する専門分野の研修会を実施しました。また、九精協各県看護部長等代表者会議や熊本県精神科情報センター研修会へ役員派遣を行いました。

- (4) 栄養部小委員会 研修会を年2回開催
 - ・会員医療機関に勤務する管理栄養士等を対象に栄養に関する専門分野の研修会を実施しました。非常食提供マニュアルにもとづき、災害時に連携をとれるよう圏域ごとに実地訓練を行いました。
- (5) コ・メディカル部小委員会 研修会を年2回開催
 - ・会員医療機関に勤務するコ・メディカルスタッフ等を対象に専門分野の研修会をオンラインで実施しました。
- (6) 事務長会 研修会を年3回開催
 - ・会員医療機関に勤務する事務長等を対象に診療報酬改定等について研修会を実施しました。
- (7) その他
 - ・熊本県・熊本市等の開催する会議等への参加を通じ、当協会の精神保健医療福祉に関する取り組み、考え方等について情報発信、情報提供を行いました。

2 機関紙「熊精協会誌」発行事業（精神保健医療福祉に関する普及及び啓発事業）

事業内容：会員相互間の情報交換や学術広報を目的として理事会議事録、学術講演録等を掲載した機関紙「熊精協会誌」を年に4回発行（発行部数350部）し、会員及び関係機関に配布しました。熊精協ホームページで会員相互間の情報提供や各種事業の広報をホームページで行いました。

協会誌編集委員会 4回開催（6/11、9/3、12/3、3/4）

3 精神障害者リハビリ事業

(1) くませいフェスタ事業（くませいフェスタ実行委員会）

事業内容：会員医療機関の相互交流や精神障がい者のリハビリの一環として会員医療機関に入院している精神障がい者を対象としたレクリエーション大会（第20回くませいフェスタ）を実施しました。

令和7年6月5日（木）ウイングまつばせ Ude-sports 参加者41 病院388名

(2) 作品展示への事業協力

- ・「第61回熊本県精神保健福祉大会」における作品展示に協力

令和7年10月3日（金） 合志市文化会館

- ・「心の健康フェスタ（第31回精神障がい者作品展示事業）」における作品展示に協力（看護部小委員会、コメディカル部小委員会）

令和7年12月7日（日） 下通アーケード内

4 災害時精神科医療機関支援事業

事業内容：県内外における大規模災害を想定し、精神障害者の医療支援や被災者のこころのケアを行う精神科医療機関の研修、人材育成、災害対応機器の整備等を行う。

- ・熊精協災害対応訓練の実施（情報伝達）（4/16、8/1、12/1）

- ・熊精協ネットワークシステム（EMIS、LINE、KEMIS等）の利活用

その他事業2：県・市からの委託事業

1 精神障害者搬送業務

事業内容：精神疾患の急発または急変のため医療及び保護を必要とする者に迅速かつ適切な医療を提供するため、措置入院患者、医療保護入院患者を医療機関へ搬送する業務を行いました。

実績：0件

2 精神障がい者地域移行支援事業

事業内容：退院可能精神障害者に対し地域移行支援員が支援活動をする際に困らないよう、アドバイザーを配置し相談に応じる事業を行いました。

実績：・地域体制整備アドバイザー配置事業
熊本市関係 3名配置

その他事項：関連団体への支援事業他

1 関連団体への支援事業

熊本県精神科病院協同組合等への協力支援を行いました。

- (1) 熊本県精神科病院協同組合
 - ・「あかねクリーン」に対する営業協力等
- (2) 熊本県精神保健福祉協会の事業

2 共催・後援等

- ・第53回熊本県精神障がい者家族大会の後援（R7.9.26）
- ・第61回熊本県精神保健福祉大会の後援（R7.10.3）
- ・第21回熊本県作業療法学会（R8.2.1）
- ・認知症市民フォーラム in うき 2025 の後援（R8.2.1）
- ・平成7年度熊本県地域精神障がい者スポレク大会（第32回ふれあいピック）の後援（R7.11.14）
- ・こころの健康フェスタ「第31回精神障がい者作品展示事業」の共催（R7.10.23）
- ・第一三共（株）熊本県の不眠を考える会の共催（R8.2.9）
- ・精神科領域で考える慢性便秘症エキスパートセミナーの後援（R8.1.23）
- ・第16回熊本県医療・保健・福祉連携学会の協賛（R8.3.1）

3 各関係機関との連携

○関係機関等の要請に応じ、各種審査会や協議会等への協力支援を行いました。

- ・熊本県精神医療審査会、熊本県医療審議会、熊本県自殺対策連絡会議等への出席
- ・心身喪失等医療観察法に基づく精神保健判定医、山都町いじめ問題専門委員会委員等の推薦
- ・くまもとメディカルネットワーク、くまもと自殺予防医療サポートネットワークへの加入促進
- ・熊本県四病院団体会長・支部長懇談会（ホテルメルパルク熊本）参加（R7.12.16）
- ・熊本県四病院団体合同研修会（ホテル日航熊本）参加（R8.2.13）

○九精協

- ・令和7年度第1回九精協役員会（R7.4.18 大分）
- ・第110回九州精神科病院協会各県理事合同研修会（R7.9.26 宮崎）

4 その他

(1) 会員の入会・退会について

入会：なし

退会：なし

(2) 要望等について

精神科救急情報センター事業、精神科二次救急医療事業に係る委託料の増額について

1 学術講演会

	開催日	演題	講師
1	R7年7月17日	片頭痛診療における精神的アプローチ	医療法人社団優仁会 鈴木神経科病院 副院長 井上 悟先生
2	R7年9月18日	有明医療圏域における認知症診療連携と地域包括ケアシステムの構築	医療法人洗心会 荒尾こころの郷病院 院長 石川 智久先生
		プレクスピラゾールを上手に活用する。～アルツハイマー型認知症に伴う問題行動への対応～	九州大学大学院医学研究所 精神病態医学 小原 知之准教授
3	R7年11月13日	抗Aβ抗体薬レケンビの登場は我々の診療に何をもたらしたか～これからのアルツハイマー病治療の期待と葛藤～	久留米大学 精神科 佐藤 守講師
4	R8年1月15日	神経発達症に関する合理的配慮～高等教育機関の例を参考に～	熊本大学大学院生命科学研究部 神経精神医学講座 牧之段 学教授
5	R8年3月19日	伊予市中山町調査から見えてきた認知症治療のこれから	愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座 伊賀 淳一准教授

2 研修会

(1) 看護部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R7年6月14日 第88回看護管理者研修会	くまもと県民交流館パレア	演題「看護管理者としての覚悟～看護管理者の力で“現場の悩み”を解決」 講師：オフィス藤野 代表 藤野みつ子先生

2	R7年8月30日 第89回看護管理者 研修会	くまもと県民交流館パ レ ア	演題「次世代の看護を担う看護管理者に必要な能力～目標管理～」 講師：オフィス藤野 代表 藤野みつ子先生
3	R7年11月22日 令和7年度精神看護 初任者研修会	熊本市民会館大会議室	演題「精神に障がいを抱える方々の理解と適切な関わり」 講師：(株)ここから 村本好孝 代表取締役
4	R7年12月6日 看護部長連携の会	明生病院	「中途採用者の継続教育について」 九精協各県看護部長等代表者会議報告
5	R8年2月12日 令和7年度精神看護 初任者研修の追加研 修	Z o o m開催	演題「精神科看護における困り事の解決に向けて」 講師：(株)ここから 村本好孝 代表取締役

(2) 栄養部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R7年6月11日	嘉島リバゾン組合会館	演題「災害時への備え～病院給食における自助と共助について～」 講師：女子栄養大学 久保 彰子先生
2	R8年2月19日	嘉島リバゾン組合会館	演題「人手不足時代に知っておきたい労務知識と業務効率化のヒント」 講師：弓削病院 人事企画室 高森祐樹氏

(3) コ・メディカル部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R7年7月1日 第66回研修会	オンライン研修会	演題「絵本と情報サイトを通して子どもも大人も応援」 講師：NPO 法人ぷるすあるは 代表北野陽子先生
2	R8年2月24日 第67回研修会	ホテル熊本テルサ	演題「多職種チーム・組織の中で、私は今どこにいて、何を期待され、これから何を担っていくのか」 作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士各2名による話題提供、グループディスカッション

(4) 事務長会

	開催日	会場	内容
1	R7年6月20日	熊本市民会館	演題「精神科病院における虐待に係る通報の対応状況等について」

			<p>講師：熊本県障がい者支援課</p> <p>演題「入院者訪問支援事業について」</p> <p>講師：熊本市こころの健康センター</p> <p>演題「旧優生保護法補償金等支給法に関する対応状況について」</p> <p>講師：熊本県子ども未来課</p> <p>演題「医療 DX について」</p> <p>講師：共和薬品工業（株）</p>
2	R7年11月18日	くまもと森都心プラザ	<p>演題「2026年精神科関連の2026年改定予測と事前の対応」</p> <p>講師：(株)リンクアップラボ</p> <p>酒井 麻由美 代表取締役</p>
3	R8年3月13日	熊本市民会館会議室	<p>演題「なぜ、田舎の小さな病院がイキイキしてきたか？」</p> <p>講師：特定医療法人谷田会 谷田病院</p> <p>事務部長 藤井 将志 氏</p>